

柿 特報 No. 1



2021. 3. 17
JA中野市営農センター
JA中野市柿研究会

定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

果樹類の生育が平年より10日程度早まっており、柿の生育も大幅に進むと予想されます。病害虫の防除は予防を意識し、早め早めの散布を実施しましょう。また、2021年の栽培日誌を配布いたします。防除記録の徹底・提出をお願いします。

病害虫防除

◎発芽前の薬剤散布 散布時期：3月下旬～

散布薬剤	水	90 ℓ 当り	散布日 月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10 ml	
	石灰硫黄合剤	10 ℓ (発芽前、-)	
対象病害虫	(黒星病)、カイガラムシ類		
散布量	10a 当り 300 ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		

(特別防除) カイガラムシ対策

防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤 (前日 塗布は1回、散布は3回以内)
防除方法	① 地際部から第一主枝の間の主幹を30cm程度、粗皮を削る ② 水：薬剤=1：1 (2倍) の割合で混合する ③ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける (目安：若木は20ml程度、幹の太い木は40ml程度)

《注意事項》

- ① 硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。
- ② 訪花昆虫保護のため、薬剤散布は早朝(午前6時頃まで)に実施する。
- ③ 主幹害虫の発生が見られる場合は、ガットサイドSの1.5倍液(45日前、2回)を主幹部・主枝及び垂主枝の分岐部に塗布または散布する。

次回：4月17日 予定
内容：4月下～5月上旬散布

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう